

## 石川県白山一里野ジャンプの平成20年度管理状況

施設所管課	教育委員会 スポーツ健康課
指定管理者	(財)白山市地域振興公社 理事長 永井 隆一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事員全員に対し、受付時又は使用前に使用者に注意事項を説明するように徹底している。</li> </ul> <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンプ競技という特殊な競技場であるため、利用者も固定していることから従事員が利用者から直接、意見や苦情等を聞き入れている。</li> </ul> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキージャンプ台として県内唯一の施設であり、全国中学校スキー大会の開催など大規模大会を行うに相応しい施設として管理に努めている。</li> </ul>
利用の促進に関する業務	<p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白山市、県スキー連盟及び各種大会実行委員会と各種大会について連携し、大会開催等の利用促進を行っている。</li> </ul>
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用許可の件数((2)参照)</li> <li>・使用料の収入実績((3)参照)</li> </ul>
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃、保守点検、警備 適正に行われている。</p> <p>小規模修繕 給水管修理</p>
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルの策定、職員への教育</li> </ul> <p>個人情報の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定(個人情報の取扱いに係る特記事項)に基づき、管理している。</li> </ul>

### (2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H19年度 (参考)	H20年度	前年度比	増減理由
利用者数(人)	1,040	71	6.8%	H19は全国中学校スキー大会の開催あり

### 使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
ジャンプ台	13	0	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

無料施設であるため収入なし。

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	1,764	消耗品費	65
		光熱水費	142
		修繕費	134
		委託料	991
		その他	90
合計	1,764	合計	1,422
収支差額	342		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

特になし

事故、故障等

特になし

その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	・利用者の意見等を直接聞き入れ、意見に応じて施設の改善等を行うことでサービスの質を向上させている。 ・ジャンプ人口は少ないが、PRなど利用促進に努めている。 ・使用開始時に注意事項を話し事故防止に努めている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・スキージャンプ台施設管理としての専門的知識や経験を活かし、仕様書等に基づき適切な施設管理等が行われている。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・適切な職員の配置がなされている。また、非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・個人情報については基本協定に基づき、適切な管理が行われている。
総合評価	B	・スキージャンプ競技の競技力向上など施設の設置目的にあった管理運営がなされている。

評価基準

A(優):仕様書等に定める水準を上回っている

B(良):仕様書等に定める水準を十分に実施している

C(可):仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、  
一部改善を期待する部分がある

D(不可):仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

A(優):適正であり、優れた実績をあげている

B(良):適正である

C(可):概ね適正であるが、一部改善を期待する

D(不可):改善が必要である

(7)助言・指摘事項

特になし
------